

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金



2019年9月6日
商工中金

災害発生時に木の温もりが感じられる仮設住宅の建設支援を行う 一般社団法人全国木造建設事業協会様を金融面からサポート！

商工中金は、地方公共団体や関係機関等と連携しながら、災害復旧や地域経済の改善に貢献する中小企業等を積極的にサポートしています。

商工中金（熊谷支店）は、一般社団法人全国木造建設事業協会様（本社：東京都中央区、代表理事：大野 年司氏）に対し、災害発生時に必要となる応急仮設住宅の建設資金枠5億円を開設しました。

同法人は、災害発生時に木造の応急仮設住宅を建設することを目的に設立された一般社団法人です。全国の地域工務店約3,000社で組織される全国工務店協会（JBN）と、建設業の従事者約62万人で組織される全国建設労働組合総連合にて構成され、現在、35都道府県と災害協定を締結しています。

同法人は、大規模災害の発生時に被災自治体からの要請を受け、木造仮設住宅の建設を請負う各都道府県の主幹事会社や地域の工務店の支援を行っています。木造仮設住宅は、調湿作用に優れていることや木の温もりが感じられるなど居住性に優れており、その需要が高まっています。ただし、仮設住宅の建設は、短納期で多数の納品を求められることから、主幹事会社が工事を進める際に多額の資金負担が生じます。このため、同法人は、主幹事会社を支援するための安定的な資金調達方法を模索していました。

商工中金は、同法人の取組みが被災地の迅速な復旧及び地域経済の復興に貢献するものと評価し、資金の出し入れが自由なコミットメントラインの開設により、同法人から主幹事会社に貸付を行う融資スキームを構築しました。これにより災害発生時に、木造応急仮設住宅を担う地域の主幹事会社に対し、緊急かつ機動的な資金供給が可能となります。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまの「SDGs（持続可能な開発目標）」に貢献する取組みを積極的にサポートしてまいります。

【一般社団法人全国木造建設事業協会様の概要】



所在地	東京都中央区八丁堀 三丁目4番10号	代表者	大野 年司様
会員数	2団体、 1賛助会員	業種	災害時における木造 仮設住宅の建設
設立	2011年9月		